

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和2年4月28日(火) 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 501会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 報告
日程第4 報告第4号 専決事項の報告について
日程第5 報告第5号 行政組織の変更に伴う関係規程の整備に関する規程の報告について
日程第6 報告第6号 宇治市教育委員会文書等管理規程の一部を改正する規程の報告について
日程第7 議案第17号 宇治市生涯学習審議会委員の解嘱及び委嘱について

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子

(教育委員)

教育長職務代理者 加 賀 爪 毅

委 員 金 丸 公 一

委 員 中 筋 斉 子

委 員 小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

部 長 伊 賀 和 彦 副 部 長 上 道 貴 志

教育支援センター長 林 口 泰 之 教育総務課長 栗 田 益 典

生涯学習課長 齊 藤 政 也 博物館管理課長 西 澤 久 美 子

学校教育課総括指導主事 藤 田 祥 尚

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 加 藤 冬 子 教育総務課主任 前 田 圭 祐

開 会 (午後6時00分)

開会宣言 教育長が4月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(令和2年3月30日)
新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況等について
- (2) 文教福祉常任委員会について(令和2年4月14日)
車両事故に係る専決処分の報告について
新型コロナウイルス感染症対策にかかる今後の対応について
- (3) 令和元年度宇治市総合野外活動センターの利用者数について
- (4) 令和2年度の小中一貫教育の取組について
- (5) 令和元年度宇治市源氏物語ミュージアム入館者数等について
- (6) 令和元年度情報公開の状況について
- (7) 「要望書」等について
- (8) 宇治市教育委員会後援事業について

以上8件を報告する。

[説明]

(1) 文教福祉常任委員会について(令和2年3月30日)

新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況等について

主な質問として、徳永委員から、マスクと体温計の準備は整っているのか。休みの間に学校図書館を開館しないのか。鈴木委員からは健康チェックの徹底とはどのようなことか。岡本委員からは小学校の給食は例年通りはじまるのか。浅井委員からは、休校に伴う、授業日数の確保について。宮本委員からは、35人以上の学級はどれくらいあるのか。授業を再開することに問題はないのか。体温計等の準備を整えてから再開する必要がある。等があった。

(2) 文教福祉常任委員会について(令和2年4月14日)

車両事故に係る専決処分の報告について

令和元年11月21日に発生した。学校作業技師が運転する公用車と原動機付自転車が接触し相手方を負傷させたものである。主な質問として、損害賠償の額について、過失割合について等があった。

新型コロナウイルス感染症対策にかかる今後の対応について

主な質問として、徳永委員から、登校日を設定しているが、人数の多い学校はどのように対応するのか。また幼稚園についてどのように対応するのか。岡本委員からは、預かり登校について、育成学級と学校と連携をとる必要がある。浅井委員からは、運動場の開放について、宮本委員からは、市教委の休業と再開の判断基準が明確になっているのか、行政のトップからメッセージを出す必要がある。等があった。

[質 疑]

[委 員] マスク、体温計、消毒液の状況はどうか。給食費の取扱いはどうか。

[事務局] 体温計については、非接触型の体温計を発注しているが、納品されていない。消毒液については、再開前に配布する。マスクについては、できるだけご家庭で準備していただくよう案内を出している。また、マスクをしてこなかった児童生徒用に各校五十枚程度配布している。給食費については、3月分は返金している。

[委 員] 幼稚園のマスクの扱いについて、幼稚園協会は園児にマスクをさせないとしているが現場はどうか。

[事務局] ご家庭でマスクをしてきてくださいと案内している。

[委 員] 園児に関しては、マスクを落としたり、他人のマスクを触ったりして、感染リスクが高まる恐れがある。

[事務局] マスクをさせないという案内はしていない。いずれにしても、臨時休業に入っているので、園児は幼稚園には来ていない。

(3) 令和元年度宇治市総合野外活動センターの利用者数について

令和元年度の利用者数の合計は96,965人で、前年度と比べて、1,378人の減少となっている。利用者数の減少要因は、悪天候による6月のイベント中止、また新型コロナウイルス感染症が主な要因である。グラウンドゴルフ場の利用者数については、5,934人になり、昨年度より271人増加した。

(4) 令和2年度の小中一貫教育の取組について

「令和元年度の小中一貫教育の取組到達状況」について、系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実では、昨年度、全ての中学校ブロックにラーニングコーディネーターを配置し、小中一貫教育のこれまでの推進体制を基盤として、学力向上に向けた教育活動の充実を進めた。各種の学力調査結果の分析により、中学校ブロック及び各校の課題を明確化し、

主に基礎学力に着目したテーマで取り組みを進めた。

また、系統的・継続的な生徒指導の充実においては、中学校ブロック内の連携体制を見直すなど、情報共有の方策を工夫することで、9年間を見通した生徒指導に取り組んだ。

次に中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開について、各中学校ブロック作成のジョイントプランに基づき、研修や児童会と生徒会で共通した取組などを進めた。中には、新学習指導要領に対応する授業作りや中学への進学への不安を軽減する取組を進めるなど、教員の連携による取組を進めた。家庭や地域連携では、取組が「見える取組」となるよう広報誌の発行やホームページの活用など情報発信を進めた。また、学習習慣の定着につながるよう「家庭学習の手引き」を作成して配布したり、中学校教員が、小学校卒業生保護者を対象に研修を行ったりするブロックもみられた。中学校ブロックの推進体制と取組の充実・改善では、配置されたラーニングコーディネーターを要として、取組を進めるとともに、学力向上については、ラーニングコーディネーターによる学校の巡回を実施し、授業研究会を柱として合同研修会を進めるなど、小中一貫教育の取組の充実を図った。

次に「令和2年度の小中一貫教育の到達目標」について、本年度は「学力向上対策」を柱に、各中学校ブロックの課題解決に向けた具体的で効果の見える実践を進めることとした。

まず、「系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実」について、学力向上については、基礎学力の定着の取組を充実させることと、「新たな学力観」に対応できる教職員の意識や指導力の向上をはかる取組を工夫していく。また、生徒指導においては、多角的に児童生徒理解を深め、組織的かつ継続的な指導を進め、一人一人が大切にされる生徒指導をすすめる。

「中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開」では、本年度のジョイントプランに基づいて、各中学校ブロックの積み上げてきた特色ある活動を基盤に、「いしずえ学習」として、基礎的基本的な学習内容の確実な定着に取り組むとともに、家庭学習と関連づけながら、学習習慣や学習意欲の向上を進める。「宇治学」では副読本を活用して、宇治を学ぶ学習を進めるとともに、探求的な学習を展開する。

また、人間関係を豊かにする取組として、小学校間、小中学校間での交流や授業、行事などの合同の取組も引き続き進める。

次に、家庭や地域との連携について、家庭・地域との連携を図っていくためには「見える取組」になることが重要と考えている。まずは、家庭や地域社会と連携した取組を充実するとともに、情報発信のツールの充実を工夫し、今後も迅速で適時性のある情報発信に取り組む。家庭との連携においては、生涯にわたって自ら学ぶ姿勢を身につけるよう学習習慣の定着を図る。また、学校家庭地域が一体となって教育に携わることができる地域教育ネットワークの構築に向けた取組も進める。

最後に、「中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善」については、校長間の強い連携の下、「ジョイントプラン」の改訂を図り、連携の要として、配置したラーニングコーディネーターと各小中一貫教育コーディネーターを中心に全教職員による具体的な取組を工夫して、各ブロックの課題解決につながる小中一貫教育の一層の推進を図る。

(5) 令和元年度宇治市源氏物語ミュージアム入館者数等について

令和元年度の入館者数は、アニメ公開後のゴールデンウィークは10連休ということもあり、大幅に増加したが、その後、平等院鳳凰堂の修繕、京都アニメーション放火殺人事件による新作アニメ公開記念特別企画展の一部中止、台風による源氏物語セミナーの延期、新型コロナウイルス感染症の影響で、訪日外国人観光客が激減し、3月3日から31日まで臨時休館した結果、有料ゾーンでは80,582人。総入館者数は109,752人となり、開館からの累計は2,356,402人となった。現在も新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館中だが、秋には、平等院ミュージアム鳳翔館との共催企画を予定し、周知に努めている。

(6) 令和元年度情報公開の状況について

令和元年度の教育委員会への情報公開請求は、全部公開14件、部分公開3件、非公開3件で合計20件であった。受付番号88番京都府学力診断テストについては、宇治市情報公開条例6条第2号、第3号、第5号の規定により、学校、施設名、児童生徒氏名は公開しないとしたが、部分公開としたことに対して、審査請求が出ている。これに対し、宇治市情報公開審査会において、京都府教育委員会の公開状況を参考に、正答数の相対度数分布は正答率にかかる部分について、テスト結果の概要の合計得点を成績順に並べた上で、学校名以外の部分を公開すべきとし、正答に関することは非公開となった。

(7) 「要望書」等について

一般社団法人京都府歯科医師会から新型コロナウイルス感染症の発生に伴う学校歯科健診に関する要請書があった。また、新型コロナウイルスに関して、自民党宇治市会議員団、公明党宇治市会議員団、うじ未来、浅井議員、日本共産党宇治市会議員団から要望があった。

(8) 宇治市教育委員会後援事業について

公益財団法人城陽市民余暇活動センター主催の守時タツミLIVETOUR2020～景色の見える音楽会～他9件、計10件について後援した。

○日程第4 報告第4号 専決事項の報告について

[説明] 専決第3号「宇治市教育委員会職員の任免について」、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第2号の規定により、定期人事異動に伴う宇治市教育委員会職員の管理職以外の任免について、専決処分をした。

[質疑] なし

○日程第5 報告第5号 行政組織の変更に伴う関係規程の整備に関する規程の報告について

[説明] 本改正は、令和2年度の行政組織の変更に伴い、「宇治市教育委員会事務決裁規程」及び「センター長等の掌理する事務を定める規程」について、所要の改正を行ったものである。

初めに、「宇治市教育委員会事務決裁規程」については、第一に、教育総務課について、新たに「学校規模適正化推進室」が追加されることに伴い、「室長」を追加し、生涯学習課のスポーツに関する事務が市長部局に移管されることに伴い、「学校開放に係る事務の処理に関すること」を生涯学習課から教育総務課へ移管するものである。

第二に、博物館管理課が新たに追加されることにより、歴史資料館に関する事項の一部及び源氏物語ミュージアムに関する事項の一部を博物館管理課に移管するものである。また、源氏物語ミュージアムに「主幹」を追加するものである。

第三に、昨年10月より幼児教育・保育の無償化が実施され、私立幼稚園就園助成事業が昨年度末をもって終了することに伴い、教育支援センター学校教育課の事項から「私立幼稚園就園助成費の交付を決定すること」を削除するものである。

第四に、青少年指導センターが廃止されることに伴い「青少年指導センター所長」を削除し、「青少年指導センター」に関する事項を「教育支援課」に関する事項とするものである。

次に、「センター長等の掌理する事務を定める規程」については、「センター長」の掌理事務から青少年指導センターを削除し、「歴史資料館主幹」の掌理事務を「歴史資料館の管理及び運営に関すること」に変更するものである。また、担当名等について、「博物館管理課主幹」、「教育支援センター学校教育課主幹」及び「源氏物語ミュージアム主幹」を追加し、「博物館管理課主幹」の掌理事務を「資料の保存及び活用に関すること」とし、「教育支援センター学校教育課主幹」の掌理事務を「幼稚園教育に関すること」とし、「源氏物語ミュージアム主幹」の掌理事務を「源氏物語ミュージアムの管理及び運営に関すること」とするものである。

[質疑] なし

○日程第6 報告第6号 宇治市教育委員会文書等管理規程の一部を改正する規程の報告について

[説明] 本改正は、令和2年度4月から新文書管理システムが導入されたことに伴い、所要の改正を行ったものである。

内容としては、システムの変更により起案用紙等が市長部局と統一された新様式となり、教育委員会用の様式が無くなったため、別記様式を削除するものである。なお、新システムでは、受理文書処理票・供覧文書処理票がともに供覧用紙となる。

[質 疑] なし

○日程第7 議案第17号 宇治市生涯学習審議会委員の解嘱及び委嘱について

[説 明] 本議案につきましては、宇治市の生涯学習の振興について、宇治市の小中学校の代表として、宇治市生涯学習審議会において意見を述べるため、宇治市校長会から推薦をいただいている、永井久敬委員に代わり、新たに推薦いただいた後任者の委嘱をお願いするものである。

新たに委嘱する委員の氏名は、市橋公也宇治市立宇治小学校兼黄檗中学校校長である。任期は、令和2年4月29日から令和3年5月31日までである。

[質 疑] なし

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

閉会宣言 教育長が4月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)